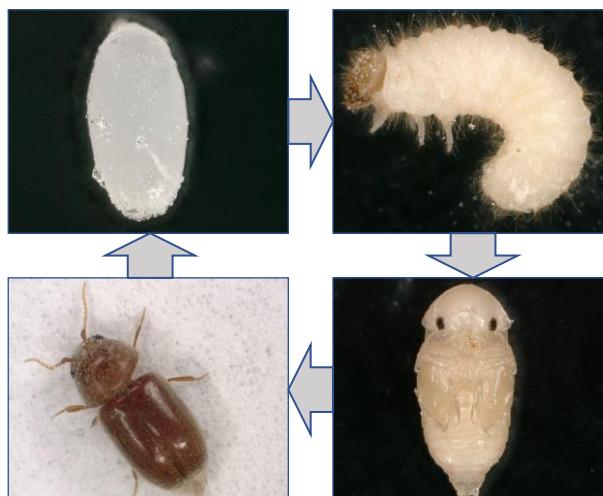


## タバコシバンムシ

分類：コウチュウ目(鞘翅目)シバンムシ科

学名：*Lasioderma serricorne*

英名：Cigarette beetle



### ■解説<sup>1)2)</sup>

本種は極めて雑食性で、含水量6～15%のあらゆる乾燥食品を食害し、特にタバコの重要害虫であることからこの名が付けられた。パン、ビスケット、コーヒー、ココア、豆類、乾麺、動物標本などを食害する。食品の原料・加工工場のみならず、一般住宅でも普通に見られ、畳のワラ床などから発生し問題となる。日本を含む世界共通種である。

わが国では、乾燥食品の害虫として本種とジンサンシバンムシ (*Stegobium paniceum*) が著名である。両者は外観が類似するが、成虫の見分け方としては、本種の触角はノコギリ歯状で各節の大きさが同等であるのに対して、ジンサンシバンムシは鞭状の触角を呈し、先端3節が長く大きいのが特徴である。

### ■体長

卵：長径0.40～0.59 mm 短径0.20～0.25 mm<sup>1)</sup>  
 幼虫：孵化幼虫0.5mm<sup>3)</sup> 老熟幼虫3～4mm<sup>1)</sup>  
 蛹：約3mm<sup>2)</sup>  
 成虫：1.7～3.1 mm<sup>3)</sup>

### ■産卵数

産卵数：10～60個<sup>3)</sup>

### ■ライフサイクル (30℃)<sup>4)</sup>

卵：6.9±0.1日  
 幼虫：25.4±1.3日  
 蛹：4.3±0.3日  
 成虫：14～40日

### ■発育零点 (発育停止温度)<sup>4)</sup>

卵：13.25℃  
 幼虫：15.18℃  
 蛹：15.50℃  
 全発育期：14.90℃

### 【参考文献】

- 1) 篠田一孝. 生活害虫の事典. 朝倉書店. 佐藤仁彦編. 2003, p. 36
- 2) 松崎沙和子・武衛和雄. 都市害虫百科. 朝倉書店. 1993, p. 68
- 3) 酒井雅博. 原色ペストコントロール図説 第I集. 日本ペストコントロール協会. 1985, p. 24-4-24-5
- 4) 新穂千賀子. 姫路短期大学研究報告, 27, 34. 1982